



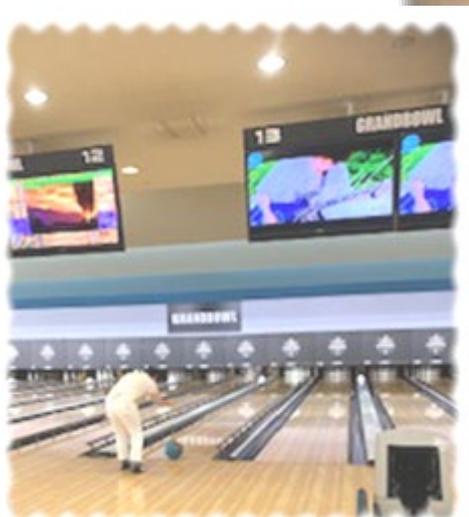
社会福祉法人おおぞら会 広報紙

SSKP

はばただより

vol.146

やっぱり
おでかけは
たのしい!



ストライクを狙って…ボウリングへGO!



コロナもまだまだ心配
ですが、おいしい空気を
吸って、笑って、動いて…
リフレッシュすることは
大事ですね!

サポートネットあすは

“サポートネットあすは”は、障害のある方々の外出サポートをするヘルパーの派遣事業所です。ヘルパーをやってみたいという方には、主婦の方、学生さん、いろいろな方がいて、またその動機も様々です。ヘルパーになるための養成講座では、そんないろいろな方々が座学や実習を受けます。初めて障害のある方と関わる方、障害のある方との外出に不安がある方も、体験実習のあと「うれしかったことは？」と尋ねると、皆さん笑顔で答えてくださいます。「コミュニケーションをとるのが難しい方の意図がくみ取れた時」「驚きや笑いを共有できた時」…やはり体験に勝ることはないようで、実際に触れ合うことでヘルパーの醍醐味を感じてくださいます。そして皆さん一緒に街にでて度胸がついて、頼もしいヘルパーさんになっていかれます。利用者がいきいきと外出できるよう、そんな頼もしいヘルパーさんを今年もたくさん増やしていきたいです!

新しい年を迎えることが出来ましたことを心から感謝申し上げます

社会福祉法人おおぞら会理事長 西原雄次郎

コロナ禍が続く中、3度目のお正月を迎えました。何ということでしょうか。新しいウイルスとの戦いで3年もの時間が経過するとは、恥ずかしながら思いもよりませんでした。人間の力の小ささを痛感させられますし、自然の力の「しぶとさ」も痛感させられます。

私たちは、自然の大きなサイクルの一部に組み込まれた小さな存在であることを、今さらのように痛感させられています。

さて、当おおぞら会は1997年11月に社会福祉法人として認可を受け、最初の事業所として1998年4月に「アクティビティセンターはばたけ」が事業を開始し、今年は25年を経過するという区切りの年でもあります。この間、当法人の諸事業を、利用して下さっている皆さま、ご家族の皆さま、応援し、支援して下さっている皆さま、何らかの関わりを持って下さっている皆さま、働いて下さっている皆さま、そして関心を寄せて下さっている皆さま、本当にありがとうございます。皆さまの利用、働き、応援、関心等々があつて、何とか4分の1世紀を乗り越えてまいりました。

私たちは今、「おおぞら会らしさ」を維持しつつ、利用して下さる皆さんにとって利用しがいのある事業所として、また働く皆さんにとっても働きがいのある事業所として、地域の皆さんから見ても「頑張っているな!」と思ってもらえる事業所として、どの様に法人経営を安定させ持続させていくか、四苦八苦しております。そして、四苦八苦しつても、5年後、10年後、そしてさらにその先へ、皆で知恵を出し合い協力し合つて、少しずつでも前に進みたいと頑張っています。

何とぞ今年も、そしてこれからも多くの皆さまからのお力添えを賜りますよう、切にお願い申し上げます。

.....

付記

私たちの事業は、平和な社会が存在することが大前提の事業です。心身に障害のある方々、認知症の高齢の方々、そしてそのご家族の皆さまが、平穏な暮らしを持続できることを切望しています。国家間の紛争の解決には、時間はかかっても、話し合いと妥協・譲り合いを辛抱強く続ける以外に道はないように思えます。21世紀のこの時代に、まだ武力によって相手をねじ伏せて物事を「解決」しようとする蛮行が横行することは残念でなりません。

今、人間の知恵が試されていると思えます。紛争地での要支援の皆さまのことを思うと胸が詰まります。コロナの収束と共に、「侵略戦争」の終焉を日々願いつつ、新年のこの時を過ごしたいと思えます。



野ざきの家

【小規模多機能型居宅介護】

野ざきの家は「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせながら在宅生活をサポートしていますが、大事にしているのが“利用者のこれまでの暮らしを尊重すること”です。

これまでの暮らしを尊重するということに、野ざきを家のサービスの中で重要なのが「訪問」です。必要な時に家に来てくれサポートを受けることができれば、慣れた我が家で穏やかに暮らすことができる人はたくさんいます。野ざきの家で現在訪問が必要な方は10名(登録者の半数)ほどおり、服薬ゴミ出し、食事準備、血圧測定、インスリン見守り、送り出し等のサポートをします。特に朝と夕方に支援が集中しますが、職員はそれぞれの方の「必要な時間」に合わせ、刻みみのスケジュールで回っています。曜日によっては2ルートで回らないと間に合いません。

さて、ある日の職員はというと、ゴミ収集車が来る時間が早い地域では8時から支援がスタート。ゴミ出しして体調を確認し、次の方へ。その日の食事を届け、服薬を確認し、また次へ。通いの準備をするためにお部屋の移動や体調確認をして送迎車に引き継ぎ。一回りして戻ってくると「通い」の方がくる時間(10時ころ)になっています。夕方と同じようなルーティンで、さらに休日には部屋掃除なども行います。こまめに毎日、短時間のサービスを組めるのも、野ざきの家の特徴です。“かゆいところに手が届く”といった感じでしょうか。

また、訪問時は近隣の方にも笑顔で挨拶することを心掛けています。地域でその人が培ってきた歴史やコミュニティが、介護が必要になったからと言って終わるわけではありません。ご近所さんが関心を持って我々の様子を気にしてくださることで、私たち事業所だけでなく地域の見守りの目が育まれていると感じています。さらに、野ざきの家では、利用者さんの状態によっては看取り支援も行います。体調が悪くなると病院、または入所施設へ…という選択肢がまず出てきますが、その方の状態や希望に合わせ考え、訪問を上手に組み合わせ臨機応変に対応することで、最期までご自宅で生活することもできるのです。



通いの風景…壁面創作



通いの風景…だんらん

昨年のサッカーワールドカップで、選手たちがチームの為に相当のプレッシャーの中、自分たちを鼓舞して全力でプレーする姿に心を打たれました。現状の中で最善を考え、どんな時も「全力」で取り組むことで、利用者の皆さんが元気に暮らせる、職員みんながお互いを尊重し助け合うことができる事業所になる…と、日本チームのがんばりを勝手に自分たちに重ねて力をもらった年末。その気持ちをもって、今年も野ざきの家らしく進んでいけたらと思っています。

(管理者：齋藤貴彦)

工房 時【就労移行支援・就労継続B型】

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。依然としてコロナ感染拡大は続いておりイベント販売などの機会もまだまだ少なく、うどんや焼き菓子などの自主製品の売上がなかなか回復せず、追い打ちをかけるように材料費や資材の値上がりがあったりと、「おもむく食堂」の営業をはじめとした工房時の活動も、昨年ではじわじわボディブローが効いてきて最終的には所員のボーナス減額の決断に至るなど、大きな影響がありました。新しい1年は、こうした状況が良いほうへ転換していくよう祈りつつ、そのための策を検討していきます。



お菓子職人！…真剣そのものです



鉄道博物館で同じなまえの特急「とき」を発見！

そんな中でも、いやそんな中だからこそ、気持ちをリフレッシュして思い切り楽しむ日をつくろう！…と、コロナが落ち着いた昨秋、鉄道博物館への日帰りバス旅行を企画しました。数年ぶりの行事ということで所員のみなさんもとても楽しみにしていて、当日も多くの方が参加しました。皆さんの笑顔を見ていると、「はたらく」ことを活動の基本としながらも、「余暇の楽しみ」ということもセットにしていくことが大切なのかなとあらためて感じました。日々の暮らしの充実という意味で、作業活動だけでなく土日開所の余暇活動も含め、楽しい場面も増やしていければと思います。

工房時は開設から12年が経ち、暮らしに関わる支援の比重がとても増えてきています。事業所全体でご本人の高齢化や、いわゆる80・50問題といった話が徐々に現実となり始めました。

こうした状況でご本人の生活を支えるためには、ご家族への支援・家庭支援という視点も必要になるのではないかと考えています。通所施設としての支援をベースとしながら、行政や計画相談、介護保険事業とも連携を取り、施設以外の場面を含めてみなさんの「暮らし」のイメージを持って日々の活動に取り組みたいと思います。

(管理者 中野昭精)



ア7ティビティセンターはばたけ(生活介護事業)

*はばたけ秋まつり~少しずつにぎやかに

地域交流行事の「はばたけ秋まつり」…コロナ禍で中止を余儀なくされてきましたが、利用者の楽しみとして再開、今年も施設行事として開催しました。秋晴れの中、庭や室内を工夫してゲームコーナーや一息できるお茶コーナーを準備し、スタンプラリーをしながら一日楽しみました。なんととっても人気はランチコーナー！好きな味のおにぎりを選び、ポテトやスープを組み合わせ、中庭やベランダにテーブルを出していただきました。

今年は、はばたけ製品を並べて路面店を出し、工房時のクッキーと一緒に庭先販売もしました。小さい形でしたが、久々にご近所の方や知っているの方々と交流でき、「今日は暖かくて良かったね！」と声をかけていただくことができました。



どれにしようかな？お楽しみランチ！

*防災訓練~備えあれば患いなし！

災害の多い昨今、いつやってくるかわからない震災に備え、今年も自主防災訓練を行いました。大沢消防署から使い方を学び、体験用消火器をお借りして放水練習もしました。避難路を確認後、布担架での移動も行いました。車いすを使用している方をどのように外に運ぶか、じっとしているのが難しい利用者の待機場所をどこにするかなど、いろいろ想定しながら防災頭巾やヘルメットをかぶり、簡易テントの中で待機するところまで「焦らず」「落ち着いて」を心がけながら進めることができました。



防災頭巾ズ…みんなしっかり待機！

消防署の方に教えてもらった標語「お・か・し・も」をみんなで確認し目に付く場所でき確認できるよう創作しました。繰り返すことで、いざというとき動けるように…みんなで大事に取り組みたい行事です。

*クリスマス会~楽しんだもん勝ちで楽しもう！

クリスマス会という名の忘年会！毎年、かくし芸がレベルアップしていくのが楽しい行事です。ずっとあたためていたネタ披露のためにコツコツと練習。やるたびに小道具も本格的になってきました。装飾や小道具を活動の創作時間にみんなで作り、そのうち職員のほうがだんだん凝りだして終わらなかつたり…、準備からとにかくみんなが楽しく開放的に、1年の締めくくりとして笑って過ごせるクリスマス会！特別メニューとケーキも堪能し、プレゼント交換までたっぷりと会を満喫しました。来年はどんなネタがとびだすか？もうすでに話が進み始めています。（管理者 柴田信）



なりきったもん勝ち！ゴーストバスターズ!!

あすは Kids

《放課後等デイサービス事業》

たのしいコミュニケーション ～人と人のつながり～

新年あけましておめでとうございます。皆様のおかげで良い新年を迎えることができました。今年もよろしく願いいたします。

さて、去年の8月31日、私は工房時から「あすは Kids」に8年ぶりに戻ってきました。新しい出会いに、最初はわくわくとときどきが入り混じった感覚でしたが、みんなが気持ちよく受け入れてくれたように感じています。いっしょに遊んだり、活動をしたり、おやつを食べたりと、充実した日々を過ごさせてもらっています。

あすは kids の子どもたちは、「こんにちは！今日も来たね」「これから何曜日に来るの？」「どこに住んでいるの？」等、色々なことを質問してくれます。そういった挨拶や質問をきっかけに、子供たちとの会話のキャッチボールが始まります。言葉のやり取りを楽しみながら、信頼関係が深まればと考えています。また、言葉が出ない子どもたちも手を握ってきたり、指さしでやって欲しいことを伝えてきたり、顔を見てにっこり笑ったり、様々な方法でアプローチをしてくれます。それぞれが自分のできる方法で、得意な方法でやり取りをしようとする姿に感心させられ、頼もしく感じるのと共に、ほっこりとした気持ちにさせてくれます。子供たちからの発信をしっかり受け止め、楽しみながらコミュニケーションを深めていきたいと思えます。日々の何気ないやり取りの一つ一つが、子供たちの成長の糧になっていると感じさせられます。

私たちの生活は人と人とのコミュニケーションで成り立っています。日々の生活で生じるトラブルや悩みは、人間関係が原因であることがほとんどです。また、嬉しいことや楽しいこと、喜びの感情もほとんどが人と人とのコミュニケーションから生まれているように思います。

生活する上で基本となるコミュニケーションの支援が、自分たちの仕事の根幹であると考え、日々子どもたちと活動を共にしています。あすは Kids が子供たちにとって安心できる居場所であることはもちろん、友達や職員とコミュニケーションをするなかで成長し、学び合える場所になればと思います。仲間同士の関係を深め、楽しく充実した時間を過ごすことができるように、子供たちの成長を見守りながら支援を続けていきたいと思えます。(管理者 立野信行)



お出かけなどのサポートしてくれる方を募集しています

障がいのある方の支援に関心のある方、何か自分を活かせることを探している方、都合に合わせて時間を選んで仕事をしたい方、ぜひヘルパーのお仕事をしてみませんか？

3日間の講習を受けることで資格を取得でき、事業所に登録することで、ヘルパーとして活動することができます。事業所が利用者の希望する日時と派遣できるヘルパーを調整しますので、空いた時間や自分の生活に合わせてお仕事ができます。興味のある方は、「サポートネットあすは」までお問い合わせください！

おおぞら会後援会ニュース

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。後援会会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。コロナの影響はいまだ続いており、元の暮らしに戻るにはまだまだ時間を要することと思われまます。法人でも感染対策を講じながらの事業運営を求められるところです。皆様におかれましても、今年も後援会活動にお力添えをいただきますよう

よろしく願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会
会長 吉野 壽夫



会費・ご寄付 ありがとうございます(令和4年6月16日～令和4年12月31日集約)

★会費のご納入

個人113名、団体4社から、会費のご納入をいただき、ご入会・ご更新の手続きをいただきました。ありがとうございました。

★後援会へご寄附(敬称略)

個人7名、団体1社から、後援会へご寄附をいただきました。ありがとうございました。

★法人・各事業所へご寄附(敬称略)

個人14名、団体4社から、法人・各事業所へご寄附をいただきました。ありがとうございました。

ご寄附は大切に活用させていただきます。

みなさま、ありがとうございました。

*** 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします ***

年会費 1口 個人…2,000円 団体…10,000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

※加入は任意です。

年会費は法人運営を応援し、法人の活動を地域に広めるため大切にに使わせていただきます。

はばただけよりの発送に際し、振込用紙を同封させていただいております。

(入会・更新済みの場合も同封しておりますことをご了承ください)

information

支援スタッフ募集!

採用条件、労働条件等の詳細については、おおぞら会本部へ直接お問い合わせいただくか、またはハローワークの情報もしくは東京都福祉人材センターのホームページ「福祉のお仕事」www.fukushi-work.jp/、または「ジョブメドレー」で検索してご確認できます。

人と関わるのが好きな方
タフでガッツのある方
大歓迎です!



★日中お時間のある方★

- ・障害がある人たちの日中の作業活動(散策・創作・運動など)
- ・障害のある子どもたちの放課後の遊び支援
- ・送迎車の運転・添乗(短時間勤務)

★休日や夜間帯で効率よく時間を活用したい方★

- ・グループホームの宿直夜勤(16:00～翌10:00)
- ・障害者のおでかけサポート(ガイドヘルパー)
- ・在宅高齢者の通いや泊りのサポート

…それぞれ活躍できる現場があります!

法人のこと、施設のこと…わからなくて迷っている方は、
まずは見学からどうぞ。

おおぞら会本部

0422-30-5571 (中野) まで

働き方いろいろ

正規職員・契約職員(常勤)
パート職員・アルバイト



社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|---|----------------|------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房時 (就労移行事業・就労継続B型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野さきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 3-3-26 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 3-3-26 | tel 0422-36-5151 |
| ・ つなぐなかまの家・さくらハイツ・つむぎの家 (共同生活援助) | | tel 0422-26-1320 |

グループホームの担当利用者が最近“推し活”を始めた。躊躇していたところを後押しし、ファンクラブに入会したりライブチケットを取るために抽選に申し込むなどチャレンジをしている。昨今は何をやるにもアプリの登録やらパスワードやら、肝心なところに辿り着くまでが大変だ。SNS も使いこなさないと情報も入ってこない。障害のある人たちの場合、難しい説明やスマホなどの操作、いざ行動する際に一人で出かけられないなど、要所所で困難なことが出てきて途中で諦めたり十分楽しめないことも多々ある。だからこそサポートを受けることで、これまでの限られた世界から一歩踏み出して新しい自分を体感してほしい。好きなことだからこそチャレンジする気持ちがわき、それが社会とつながり自信になる…単純だが、そういうことなのだ。(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102 (頒価 50円)

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者:入倉暁子